

Your Success, Our Pride.



2020年3月期 本決算 経営方針

2020年6月18日

東洋エンジニアリング株式会社

2020年3月期決算遅延について

当社グループ最大の海外拠点のあるインドのムンバイにおいて、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、都市封鎖が再三にわたって延長となりました。この影響を受けて、連結決算処理が停滞し、ステークホルダーの皆様にご多大なるご心配をおかけしましたことをお詫び申し上げます。

前期業績

1. 2020年3月期 業績
2. 2020年3月期 プロジェクト概要

今期見通し

3. 主要プロジェクト一覧
4. 新型コロナの影響
5. 事業環境認識とポストコロナを見据えた対応
6. 受注見通し
7. 2021年3月期収支見通し
8. 2021年3月期 経常損益見通し分析

中長期の取り組み

9. TOYO変革への中期的経営方針
10. SDGsへの取り組み

1. 2020年3月期 業績

- ◆ 米国エチレン引き渡し／営業利益黒字化
- ◆ 受注高は投資見送り・期ズレなどの影響から大幅未達

(単位：億円)

	2020/3/31 実績	通期見込	差異
		2019/5/15付	
売上高	2,190	2,400	△210
売上総利益	187	215	△28
売上総利益率	8.6%	9.0%	△0.4 pt
販管費	168	185	17
営業利益	18	30	△12
営業外損益	5	0	5
経常利益	24	30	△6
当期純利益	16	20	△4
受注高	1,870	3,000	△1,130

- ◆ 配当見込：無配

2. 2020年3月期 プロジェクト概要

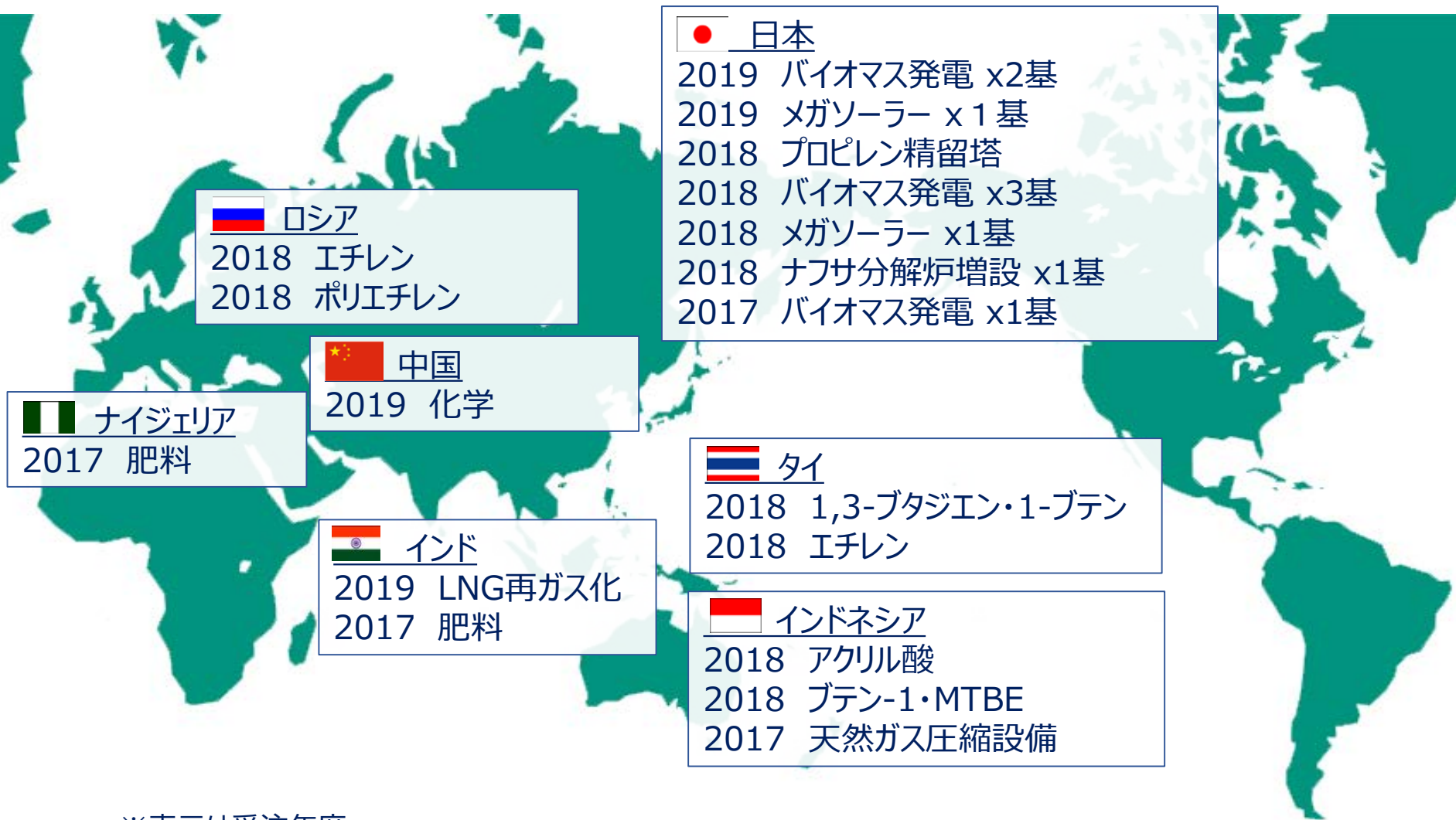
- ◆ 米国・エチレンプロジェクト
 - 2020年3月中旬 客先引き渡し、商業運転開始
 - 本プロジェクトのコストは20年3月期決算で計上済

- ◆ マレーシア・エチレンプロジェクト
 - 2019年12月、客先引き渡し、商業運転開始

- ◆ その他プロジェクト
 - 順調に進捗
 - 2019年度の主な完工案件
マレーシア・エチレン、米国・エチレン、タイ・発電、インドネシア・ポリエチレン、日本・メガソーラー 等

3. 主要プロジェクト一覧

2020年3月31日現在



※表示は受注年度

4. 新型コロナの影響

◆ 主要プロジェクトの状況

2020年6月17日現在

- 渡航禁止・資機材製作/物流の乱れ・工事の遅延など大小様々な影響

国	プロジェクト	E	P	C
インド	肥料(EPC) LNG再ガス化(EPC)	在宅勤務 50%ロード	一部機器資材 に遅れ	ワーカー動員 限定的
ロシア	エチレン・ポリエチレン (EP+Cm*)	在宅勤務 50%ロード	客先判断で スローダウン	-
ナイジェリア	肥料 (EP+SV*)	ほぼ完了	ほぼ完了	-
インドネシア	石化(EPC)	50%出社& 在宅勤務	影響軽微	影響軽微
日本国内	メガソーラー/ バイオマス発電(EPC)	影響軽微	一部機器資材 に遅れ	影響軽微

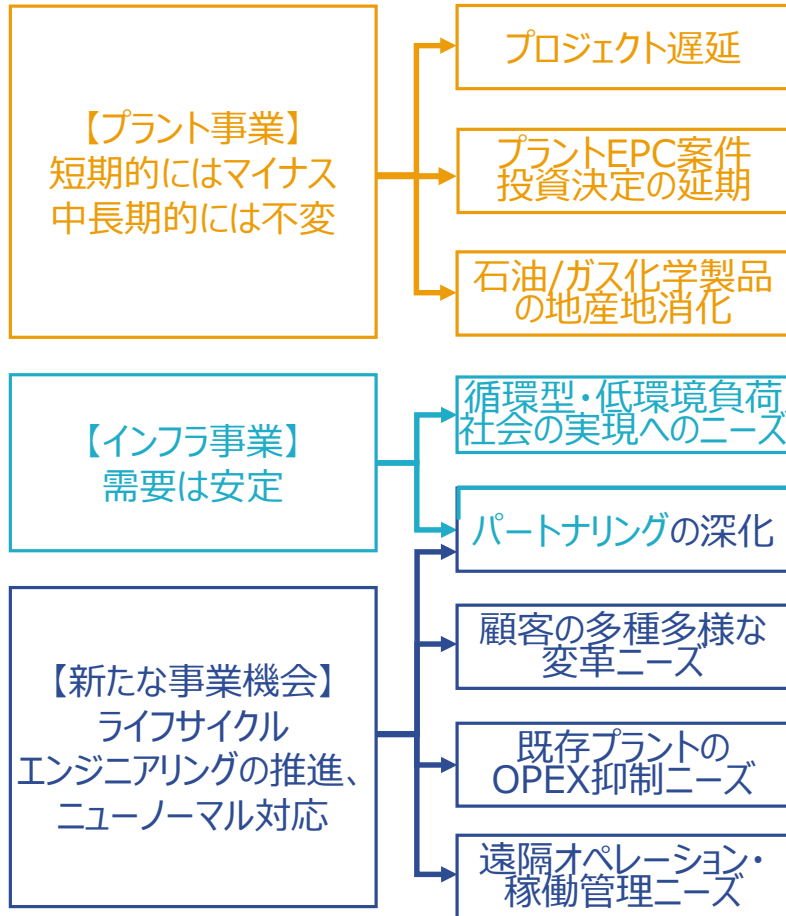
*Cm:Construction management *SV:Supervision

◆ 受注活動への影響

- 油価低迷など、世界の経済情勢の見通しが不透明な状況が続く
- お客様の投資判断の先送り・一時中止など事業環境に大きな変化

5. 事業環境認識とポストコロナを見据えた対応

足もとの事業環境



ポストコロナを見据えた対応

一部地域では工事中断も、お客様に寄り添い対策を提案
設計業務等はグローバルリモートワーク体制に磨きをかける

設備投資の回復に備えて、FSなど検討業務受注に注力
次世代技術開発とDXoT¹を加速

有力なEPC拠点があるインド・インドネシア・中国はポストコロナ
においても大きな潜在需要期待、設備投資開始に備える

再エネ、ガス火力設備投資への 積極的対応

日鉄エンジニアリングとの包括連携3年目、EPCで成果
あらゆる領域での協業を深化

エンジニア／国際事業人財不足の顧客への
Owner's Engineeringサービスの拡販

プロセス系と用役系を合わせたプラント全体を最適化して省エネを
実現する数理最適化手法を用いた“HERO²”による市場開拓

DX-PLANT^{®3}の遠隔オペレーション・故障の予兆検知等、
ライセンスならではの支援サービス提供を推進

¹DXoT : Digital Transformation of TOYO

²HERO : Hybrid Energy system Re-Optimization

³DX-PLANT[®]:クラウド上に構築した仮想プラントを通じて運転保全など総合支援を提供するサービス

6. 受注見通し

2021年3月期受注目標：2,200 億円

事業区分	受注見込案件
プラント事業	<ul style="list-style-type: none">◆ インド 石油化学、インド ガス化学◆ 東南アジア 石油化学◆ 国内 石油化学
ソリューションビジネス事業	<ul style="list-style-type: none">◆ 国内 国策支援型エンジニアリング◆ 顧客事業全般にわたる支援サービス
インフラ事業	<ul style="list-style-type: none">◆ 国内 バイオマス発電

7. 2021年3月期収支見通し

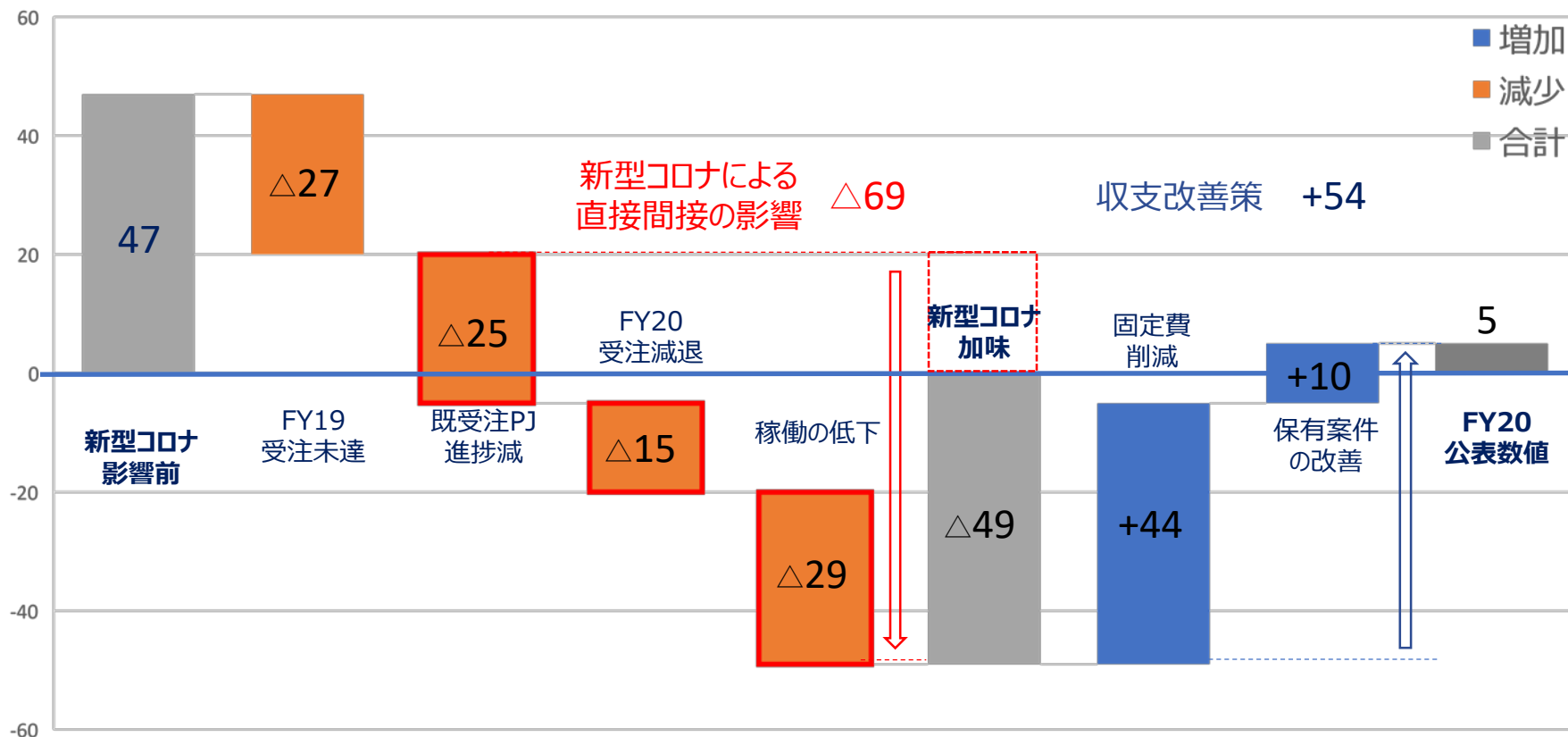
(単位：億円)

	通期見込
売上高	2,100
売上総利益	175
売上総利益率	8.3%
販管費	170
営業利益	5
営業外損益	0
経常利益	5
当期純利益	0

◆ 配当：無配（予定）

8. 2021年3月期 経常損益見通し分析

(単位：億円)



9. TOYO変革への中長期的経営方針

1

Advanced EPC Operation powered by DXoT

-グループオペレーションの更なる深化 × DXoTにより
卓越した品質・お客様価値の最大化を実現

EPCで培った知見・
経験と利益を投資



新しい知見や事業
機会をEPCに還元

2

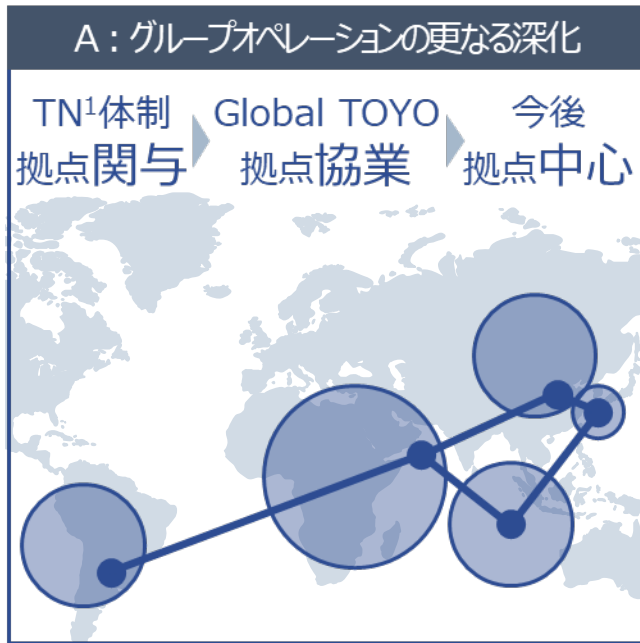
Sustainable Technology & Business Development

- サステナブルな社会の実現に寄与する
技術と新事業領域の開拓

※ 図は「EPCと非EPCは互いに依存し単独では存在し得えず、DNAのようにTOYOを形作っていく」ことを表現している



グループオペレーションの更なる深化 × DXoTにより 卓越した品質・お客様価値の最大化を実現



1 : TN体制 Trans National体制



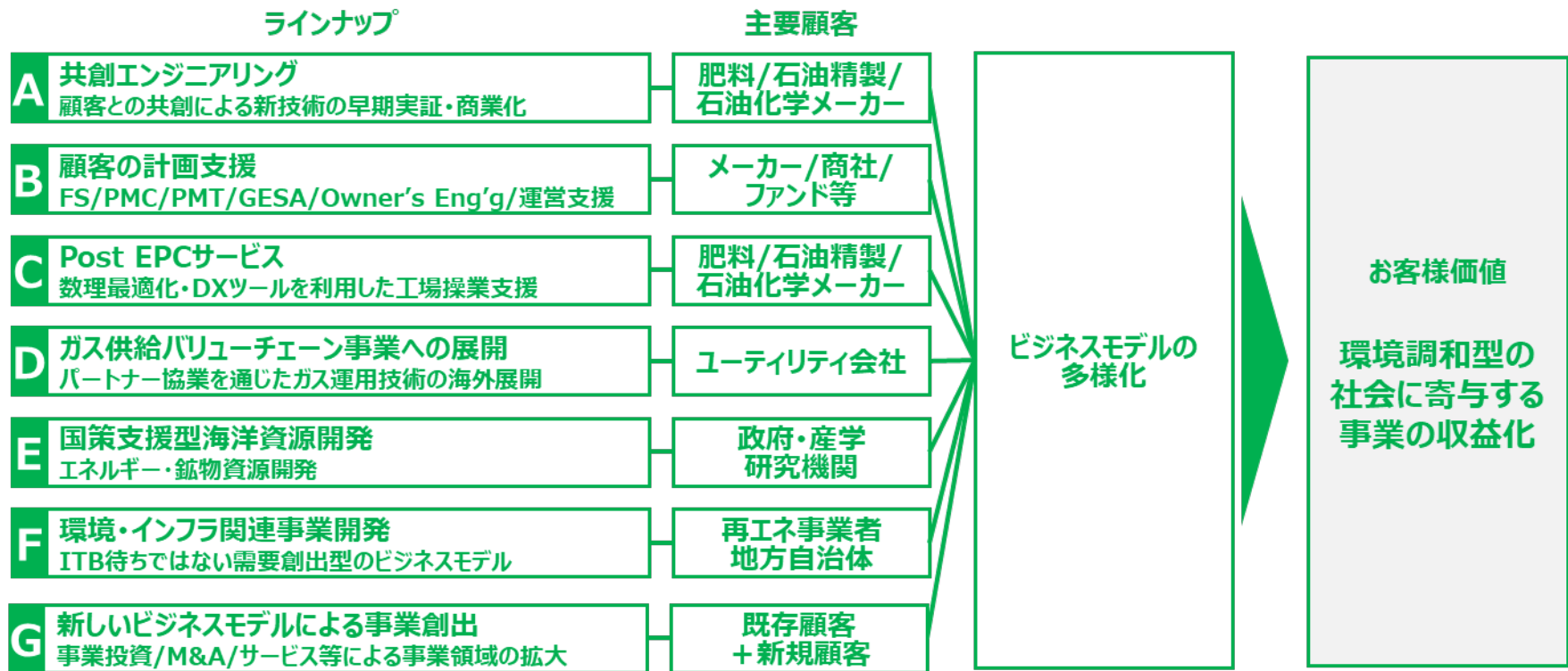
2 : DXoT Digital Transformation(X) of IOYO

3 : QCD Quality Cost Delivery





サステナブルな社会の実現に寄与する 技術と新事業領域の開拓



10. SDGsへの取り組み

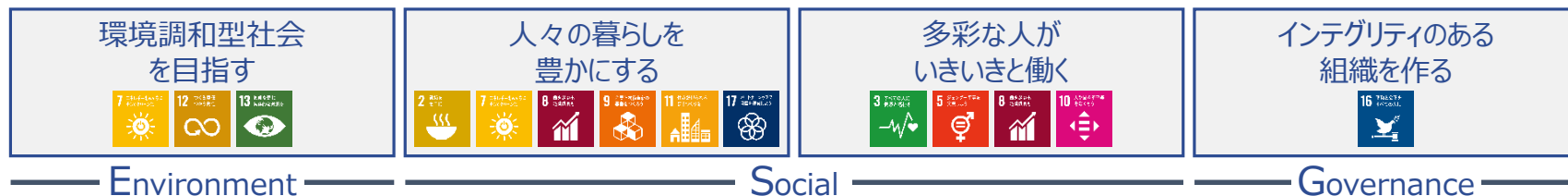


TOYO Group Mission

Engineering for Sustainable Growth of the Global Community

TOYOの商品領域は、食糧問題を解決する尿素にはじまり、豊かな社会の実現を支える様々な基礎化学品や社会を照らし・動かす電力、人々の快適な移動を支える鉄道、エネルギーの有効活用及び低環境負荷を実現するCO₂-EOR技術やDX-PLANT®、HEROなど地球社会に不可欠なものであり、事業でSDGsに貢献する

【地球社会にとっての重要性】×【TOYOの事業にとっての重要性】の2軸でマテリアリティを設定



マテリアリティへの取り組みについてステークホルダーと対話していく
社会ニーズの変化に合わせて見直していく

Your Success, Our Pride.



東洋エンジニアリング株式会社

URL <https://www.toyo-eng.com>

【お問い合わせ】

〒275-0024 千葉県習志野市茜浜 2-8-1

広報・IR部長 飯田 渉

電話 047-454-1681

E-mail ir@toyo-eng.com

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。